

平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況 ( 連結 ) 平成 15 年 8 月 6 日

上 場 会 社 名 三菱レイヨン株式会社 (コード番号 : 3404 東 大 名 福 札)

( URL <http://www.mrc.co.jp/> )

代 表 者 役職名 取締役社長 氏名 皇 芳 之  
問合せ先責任者 役職名 経理部長 氏名 及 川 清 T E L (03)5495 - 3130

1 . 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2 . 平成 16 年 3 月期第 1 四半期業績の概況 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日)

(1) 売上高 (注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売 上 高	
	百万円	%
16 年 3 月期第 1 四半期	71,836	-
15 年 3 月期第 1 四半期	-	-
(参考) 15 年 3 月期	300,641	

(注) 四半期業績の開示は、当第 1 四半期より行っておりますので、前年同四半期の実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

[売上高に関する補足説明]

当第 1 四半期の日本経済は、米国景気の回復の遅れや日本国内での消費の低迷が依然として続くなど、回復感のない厳しい状況が続きました。

このような環境のもと、化成品・樹脂事業は、MMA モノマーが旺盛な需要により逼迫した状況が続ぎ、上昇した原料価格の製品価格への転嫁に努めました。P MMA (アクリル) 成形材料は日本及びアジア市場向けが堅調に推移し、アクリルシートは導光板用途向けや携帯電話用途の表面硬化アクリル板が好調でした。

繊維事業は、アクリル短繊維は S A R S (重症急性呼吸器症候群) の影響が軽微に止まり、7 月以降のシーズンインに伴い需要増加が見込まれます。その他の繊維は、トリアセート長繊維「ソアロン」が、一時的に落ち込んだ中近東向けが回復するなど、全般的に計画通り推移しました。

機能製品・エンジニアリング事業外では、炭素繊維・複合材料事業は製品価格の値戻しが小幅に止まりましたが、スポーツ分野において、アジア市場をはじめ堅調な出荷が続きました。情報材料事業並びにアクアライフ事業も概ね計画通りに推移しました。

以上の結果、売上高はほぼ計画通り、7 1 8 億 3 6 百万円となりました。

(ご参考 : 事業の種類別セグメント売上高)

	化成品・樹脂事業	繊維事業	機能製品・エンジニアリング事業外	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円
16 年 3 月期第 1 四半期	31,107	21,559	19,169	71,836
15 年 3 月期第 1 四半期	-	-	-	-
(参考) 15 年 3 月期	116,214	94,364	90,062	300,641

(注) 四半期業績の開示は、当第 1 四半期より行っておりますので、前年同四半期の実績は記載しておりません。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

平成 15 年 5 月 12 日開催の当社取締役会において、国内無担保普通社債の発行に関する包括決議を行っております。

(注) 平成 15 年 7 月 28 日に第 2 回国内無担保普通社債 1 0 0 億円を償還し、平成 15 年 7 月 29 日に第 4 回国内無担保普通社債 1 0 0 億円を発行いたしました。

3 . 平成 16 年 3 月期の連結業績予想（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想営業利益	予想経常利益	予想当期純利益	1 株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
中 間 期	147,000	11,000	8,500	4,500	7.36
通 期	300,000	24,000	19,000	10,000	16.35

[業績予想に関する定性的情報等]

第 1 四半期の売上高は概ね予想通りに推移し、営業利益は若干予想を上回っておりますが、中間期及び通期の業績予想についての見直しは行っておりません。

上記の予想は平成 15 年 5 月 12 日の連結決算短信で発表した連結業績予想であり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。